

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【対面】子どもの理解と援助		
担当者(Instructors)	島崎 佳子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
子ども一人一人の心身の発達や学びを把握する。子どもの基本的な考え方を学ぶとともに、子どもを理解するための具体的な方法および理解に基づいた保育士の援助や態度についても習得する。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	保育現場の具体的な事象を基に、自分の言葉で表現することを行います。 小グループでのワークやディスカッションを行います。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子ども理解の意義 1	自己紹介・・・子どものことを今の自分に照らし合わせて考え、他者を理解するということを考える 子ども理解とはどのようなことをいうのか、話し合ってみよう。	☐
第2回	子ども理解の意義 2	子どもの視界を体験してみよう。どんな風に見えるかを通して子どもを感じてみよう。	☐
第3回	子どもを理解する視点 1	子どもの体の発達・心の育ちを知ることによって保育者の役割を考える。	☐
第4回	子どもを理解する視点 2	子どもの心の育ちを支えるスモールステップの課題付けを考える。	☐
第5回	子どもを理解する視点 3	人の中でしか育たない力はなんだろう。想像してみよう。	☐
第6回	子どもを理解する方法 1	子どもを観るということ、自分にどんな心の動きがあるのか体験してみよう。記録をするのは誰のために行うのか考えてみよう	☐
第7回	子どもを理解する方法 2	保育集団としての子どもを支えることの大切さ 情報の共有をするために配慮すること	☐
第8回	子どもの理解に基づく援助のあり方	発達の支援をしていくということとはどのようなことなのか具体的な事例をもとに、自分にできそうなことを考えてみよう。	☐
第9回			☐
第10回			☐
第11回			☐
第12回			☐
第13回			☐
第14回			☐
第15回			☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
授業の中で次回のテーマを示すので、それについて配付する資料を用いてレポートを作成する。（2時間程度）。 授業の振り返りを行い、気になったワードをひとつ選び、選んだ理由をレポートする。（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出されたレポートは、添削・採点の上返却します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	自分が思ったこと、感じたことを相手に伝えるように表現することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	興味を持ったことを発信する。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内の課題（授業の振り返りレポート）の提出				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		